リビングにベストマッチする「ステレオ・アンプ」はこれしかない？！

AI303 Special

希望小売価格￥145，000（税別）

コンプリートパッケージ

希望小売価格￥149，000（税別）

コンプリートパッケージは、AIRBOW – CPSC-KDK/2.0m**（極性表示付き電源ケーブル）がセットになったお買い得パッケージです。**

リビングにふさわしい音質と使い勝手を追求

大型 TV は設置の簡便さのため、どんどん「薄く」そして「軽く」なりました。その結果「スマホほど」はさすがに言い過ぎですが、中低音が痩せたその音は到底画面の大きさや質感にはマッチしなくなっています。では、なぜ今まで TV 専用のオーディオシステムが普及しなかったのでしょう？

それは、「リモコン連動」です。マニアならいざ知らず、普通の人は「TV を付けるためにわざわざアンプの電源を入れる」ことすら面倒で、音量調整のため別なリモコンを使うなど考えられないことです。もし、テレビのリモコンでアンプが連動すればどんなに便利でしょう。2009 年に HDMI1.4 に「ARC」という規格が追加され、TV からアンプをコントロール出来るようになりました。そして 2017 年、HDMI2.1 でその規格が「eARC」に発展し、それまでステレオ信号だけだった音声が、最新のサラウンド信号に対応するようになりました。それが今の「サウンドバー」の爆売に繋がっています。

このようにサウンドバーや AV アンプから搭載が始まった「eARC/ARC」ですが、最近はステレオ・アンプも積極的にこの規格に対応するようになってきています。AIRBOW AI303 Special は、2023 年 TEAC から発売された ARC 対応端子を備える小形プリメインアンプ AI303 をこれ以上は出来ないところまでブラッシュアップし、AIRBOW が求める音質に仕上げた製品です。

中低音の厚みと小音量時にリニアリティーを徹底的に追求

私が考えるリビングにふさわしいシステムの条件は 2 つです。1 つはブックシェルフ型スピーカーから大型スピーカーのような低音を出せること。音量を絞りきるまで音が痩せないこと。まずパワーアンプ電源容量をノーマル比 3 倍に拡大することで、求める中低音の量感・力感と音場の濃さを実現しました。さらに信号経路のパーツをハイエンドオーディオグレードに置き換え、高周波電源ノイズを大幅に低減し、消え入るような小さな音まで完全に再現することが可能となりました。

完成した AI303 Special は、ブックシェルフ型スピーカーをまるでフロア型スピーカーのように鳴らし、JAZZ のベースライン、Pops のリズムセクションは思わず体が動きだすほどの実在感で再現します。音量をどれほど下げても音場は広がりを失わず、2 本のスピーカーからサラウンドのような「立体音響」を実現します。深夜のリビングで限界まで音を絞っても低音ははっきり聞こえ、音場は部屋いっぱいに広がり続けます。深夜のリビングでも納得の音質で音楽を心ゆくまで楽しめる。そんな性能は、AIRBOW 以外のアンプでは実現しないでしょう。

どんな条件下でも高音質を発揮できます

リビングというオーディオには最も厳しい環境でも確実に「AIRBOW の望む音質」を実現するために、AI303 Special の開発は、考え得る最悪の条件で行いました。電源ケーブルは付属品、USB 入力は廉価 Windows-PC、HDMI（eARC/ARC）入力は廉価 TV と Fire Stick を組み合わせて音源にしました。それでも弦楽器は滑らかさを失わず切れ込みが鮮やかなスリリングな雰囲気で鳴り、ボーカルはアナログレコードのように厚みがあって滑らかです。

ネットワークとの接続で広がる世界

AI303 Specialは、「TVの音声をすべて高音質化」できる、eARC/ARC出力を備えるTVとの組み合わせが便利です。

Android TVならHDMI接続するだけで「オーディオシステムの追加」を一切意識することなく、YouTube、Amazon Music、Netflixなど、様々なネットワークコンテンツを高音質で楽しめるようになります。TVがネットワークに対応していない場合、Fire Stick、Chromecast with Google TVを追加すれば、同じ機能が使えます。

新世代のハイレゾに完全対応

TVや廉価PCのようなプアなプレーヤーとの接続でも高音質を実現するAI303 Specialですが、その真骨頂は「ハイレゾ（高音質）音源」で発揮されます。PCM信号は「384kHz/32bit」、DSD信号は「11.2MHz」まで再生可能。さらにUSB、HDMI、 光デジタル、同軸デジタル入力では「MQA」のデコードが可能です。

良質な入力信号と良質なスピーカーを組み合わせたとき、AI303 Specialは、価格とサイズが信じられないほどの高音質を発揮します。

使える「クロスフェード」機能

大ヒットしたAIRBOWの小型アンプ「Little Planet」は小音量時のリニアリティ向上のため、あえて「クロストーク（左右の音の混じり）」を完全に排除しませんでした。そうすることでスピーカー中央の音が濃くなりボーカルや映画の台詞がTV画面から飛び出してくるようなイメージに定位させられるからです。

AI303 Specialに搭載される「クロスフェード」は左右の音を混ぜ中央に音を寄せる機能で、メーカーは「ヘッドホン再生時に使う」と説明していますが、スピーカー再生時にもツマミを「最大10時（お薦めは9時）」までの範囲で上げて使えば同様の効果が得られ、音楽の雰囲気がグッと濃くなります。お試し下さい。

さらなる音質アップに挑戦

パーツが少なく回路もシンプルなAI303 Specialは、電源や入力ケーブル、あるいはインシュレーターなどの「オーディオアクセサリー」に敏感に反応します。素のAI303 Specialを十分に堪能されたら、まずは電源ケーブルからグレードアップしてみましょう。有効なアクセサリーを繰り返し追加することで、AI303 Specialは何度でも新しい驚きを聞かせてくれるはずです。

※仕上げは、上品なシルバー、精悍なブラックからお選びいただけます。

※すでにAI303をお買い上げのお客様には、78,000円（税別）にてバージョンアップを承ります。

主な仕様

- 最大出力：25W×2（8Ω）、50W×2（4Ω）
- ヘッドホン出力：3.5mm4 極ステレオミニ×1
- デジタル入力：HDMI、同軸(RCA)、光(TOS)x 各 1
- USB-C 入力：DSD（11.2MHz）、PCM（384kHz/32bit）
- MQA 対応（USB-C、同軸/光、HDMI）
- アナログ入力：RCA×2
- 消費電力：63W
- 寸法：215(W)×61(H)×257(D)㎜（突起部を含む）
- 質量：2.3 kg

お薦めオーディオボード

AIRBOW - WFB-2129-18/A4
メーカー希望小売価格
￥20,300（税別）